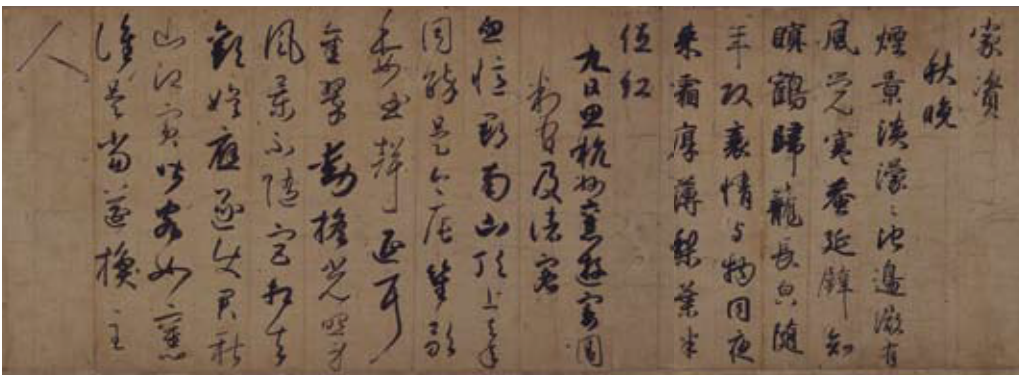


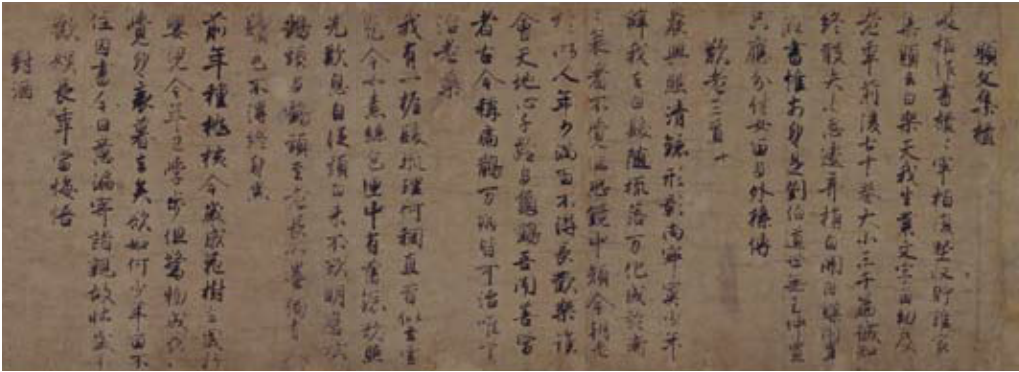
東西春淡々

とうざいはるたんたん——。

東にも西にも春が静かに満ちている、という意。
 今回の展覧では、そうした風景を、またそうした情景を私たちに導く作品群を展示します。愛らしいもの、かぐわしきもの、そしてお馴染み墨の魅力。平安の雅を伝える国宝の書や水墨画、墨蹟を始め、正木美術館の蔵に眠っていた珍しい収蔵品の数々をお披露目する絶好の機会となることでしょう。
 正木美術館のあらたな魅力発見！ ぜひおたのしみください。



三体白氏詩卷(部分) 小野道風筆 平安時代 正木美術館蔵 国宝 ※前期展示(4月6日~5月12日)



後醍醐院本白氏詩卷(部分) 藤原行成筆 平安時代 正木美術館蔵 国宝 ※後期展示(5月18日~6月23日)

関連プログラム

展覧会入場者対象
 ◎は事前申し込み制

◎特別講演会「正木美術館の魅力」
 講師：島尾新(学習院大学教授)
 五月三日(金・祝) 一四:〇〇~
 もう一度正木美術館の魅力を確認したい！
 日本美術史にご専門の島尾新先生に、存分に語っていただきます。

◎茶会「東西春淡々」

五月十八日(土)
 ①二:〇〇 ②三:〇〇
 各席：十五名 参加費：一〇〇〇円(点心付)
 美術館に隣接する正木記念邸で、陽気な春の気配を感じながら、当館自慢のお道具に触れていただきます。初の試みの、点心付です。

◎第十回 卓話「床の間の一幅を愛でながら」

講師：高橋範子(正木美術館館長)
 四月十三日(土) 一四:〇〇~
 定員：二十名 参加費：一〇〇〇円(呈茶付)
 恒例の卓話も回を重ね、十回目となりました。床の間の一幅を鑑賞しながら、室町水墨画鑑賞の極意をお聞きいただけます。

◎ワークショップ 聞香「魅惑の香り」

講師：山田松香木店
 六月一日(土)
 ①二:〇〇 ②三:〇〇 ③一五:〇〇
 各席：十名 参加費：三〇〇〇円
 香を聞く——。その不思議な体験をお楽しみください。室町の雅を今に伝える魅惑の香りに酔いしれるひとときを。

●館長によるギャラリートーク

四月二十七日(土) 一四:〇〇~
 六月十五日(土) 一四:〇〇~
 当日、展示室にお集まりください。展覧会に込められた想いや、作品に込められた歴史のひとつコマを丁寧に解説いたします。

※申し込みは、往復ハガキのみの受付です。
 一通につき二名様までお申し込みいただけます。

◎展覧会予告

四十五周年記念秋季特別展
 墨魅 ぼくみ
 二〇一三年九月二十一日(土)~
 二〇一四年二月二日(日)
 正木美術館が一貫したテーマで問い続けてきた墨魅、すなわち墨の魅力をさらにあらたな切り口でご覧いただく展覧会。乞ご期待。おたのしみに。

お問い合わせ先

公益財団法人 正木美術館
 大阪府泉北郡忠岡町忠岡中二一九一二十六
 TEL: 〇七二五-二二六〇〇〇
 FAX: 〇七二五-三二一七三三
 e-mail: masaki-museum@msi.biglobe.ne.jp
 URL: http://masaki-art-museum.jp

交通：南海本線難波駅より泉大津駅(約二十分)各駅停車にて忠岡駅(約一分)
 関西空港駅より春木駅(約二十分)各駅停車にて忠岡駅(約一分)
 忠岡駅より徒歩約十五分
 泉大津駅/春木駅よりタクシーで約五分
 ※みなさまへのお願い
 駐車台数に限りがございますので、なるべく公共の交通機関をご利用下さい。



扇面流蒔絵手箱 室町時代 正木美術館蔵



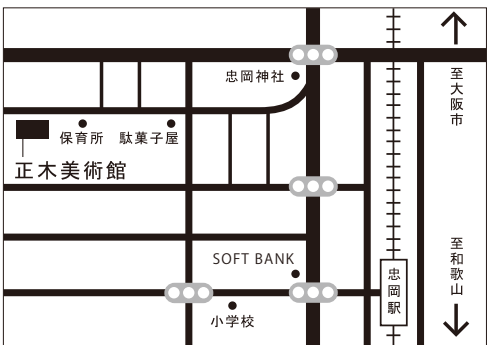
仏三尊碑像 正光4年(523)銘 北魏時代 正木美術館蔵



金銅柄香炉 鎌倉時代 正木美術館蔵



朱塗春日盆 鎌倉時代 正木美術館蔵



割引券

本チラシを美術館チケット売り場にてご呈示ください。入場料が各100円引となります。

※2名様までご使用になれます。
 ※なお、他の割引との併用はできません。